

第14回森林は友達！作文コンクール表彰式

関東森林管理局東京事務所

3月8日、都内ホテルにおいて「第14回森林は友達！作文コンクール」の表彰式が行われました。

この作文コンクールは、茨城県から静岡県までの1都6県にある森林管理署、高尾森林センター等が実施した森林教室・体験林業に参加した小学生4～6年生を対象に、参加して感じたことを作文にすることによって、森林・林業に対する理解や関心をより一層深めてもらうことを目的として東京事務所と社団法人東京林業土木協会が共催で毎年度行っているものです。これまでの参加者の総計は1万2千人を超えています。

今回は、23団体から1,483名の参加があり、最優秀賞(林野庁長官賞)は、多摩市立連光寺小学校5年生の宮田陵さんが受賞したほか優秀賞11名、努力賞18名、審査員特別賞1名がそれぞれ表彰されました。

昨年(2010年)は「国際生物多様性年」であり、生物多様性保全の重要性がクローズアップされたことから作文コンクールでも森林と生物の関係を取り上げた優れた作品が見られました

今年(2011年)は「国際森林年」です。世界のあらゆるレベルで森林の重要性についての認識を高める活動が行われます。そのような中で、この作文コンクールは確かな役割を果たしています。



審査講評



最優秀賞(林野庁長官賞)授与



お祝いの言葉



最優秀賞作品朗読